

証券コード：6928



第55期

中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第55期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・樹脂成形加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチック

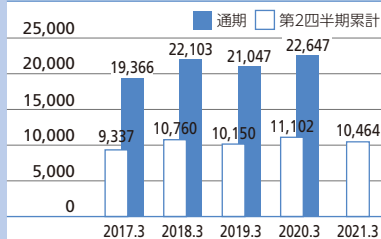
の超微細複合加工技術を確立し、日本のものづくりに貢献して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品のひとつであるLED（発光ダイオード）に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、スマートフォン等のIT機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品、また自動運転車やIoTの普及に必須となる各種半導体リードフレームは、今後の

財務ハイライト（連結）

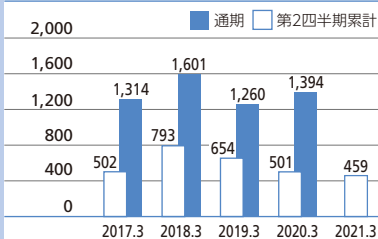
売上高

(単位:百万円)



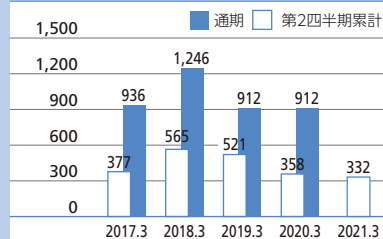
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



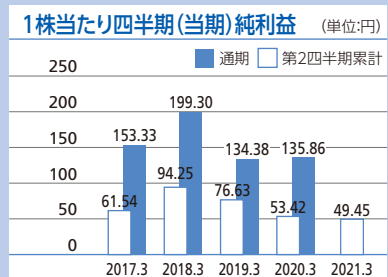
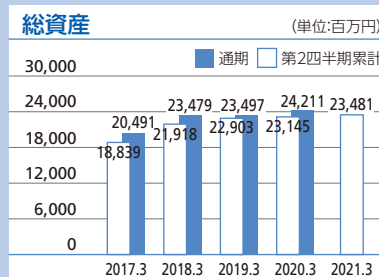
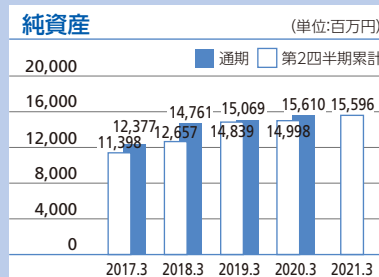
社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることができるものと信じております。

当社グループが対処すべき課題として、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、中期経営方針として『新たな価値の創造～他社が真似のできないものづくりを追求する～』を掲げており、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。経営方針の5年目にあたる2020年度は、各自が任務や目標を達成することに責任と誇りを持ち、能力を最大限に発揮することで組織としての更なる成長を目指すことを端的に表すものとして、経営重点テーマに『貫徹』を

掲げ、活動しております。

当社グループは、絶えず顧客に信頼される製品を提供し、新製品の開発を行い、この事業を通じて会社の繁栄と社会の発展の一致を期すことを目指しております。また、取引先及び従業員などのステークホルダーの信頼と理解を基礎とし、協力的気風を培い総力を結集して、企業としての安定性、成長性、収益性を高めることを重視しており、激しい国際競争が深まる中、いかなる事態にも迅速に対応でき得る強固な経営基盤を確立し、企業価値の最大化を目指し鋭意努力する所存でありますので、株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



※2017年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。これに伴い、過年度の「1株当たり四半期(当期)純利益」を溯及修正しております。

事業別の概況

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響を依然として強く受けながらも、製造業を中心に一部では持ち直しの動きも見られる一方、雇用環境の悪化により個人消費の回復は緩慢なものとなっています。

海外におきましても経済活動の再開は徐々に拡大しており、概して緩やかながら回復に向かっておりますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大が報じられる地域も有ることから非常に不安定な状況が継続しています。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、低迷している分野と比較的堅調な分野が混在しています。

このような状況下、当社グループは更なる品質の改善と製造工程の自動化・効率化による製造コスト低減を組織的に推進し、売上及び収益力の向上に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は104億6千4百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は4億4千8百万円（同11.6%減）、経常利益は4億5千9百万円（同8.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億3千2百万円（同7.4%減）となりました。

通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済が新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、その収束の時期が未だにはっきりと見通せていないことから、非常に不安定な状況となっています。

自動車向け部品については世界的な自動車需要の見通しが難しい局面が続いておりますが、一部の地域においては改善傾向にあり部品の需要にも回復の兆しが見られます。

また、当社の主力となっているモバイル端末向け部品の需要はスマートフォン向け、ウェアラブル端末向けともに堅調な推移を見せており、新規モデルの発売に向けて部品の需要は増加しています。

このような環境下、当社グループは当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとして過去の枠組みにとられない新たな顧客の開拓を積極的に行い、全社一丸となって売上及び収益力の更なる向上に努めて参ります。

通期の連結業績予想

通期の見通しにつきましては2020年8月21日に発表いたしました予想のとおり、売上高205億円（前連結会計年度比9.5%減）、営業利益9億3千万円（同31.6%減）、経常利益9億円（同35.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益6億6千万円（同27.7%減）を見込んでおります。

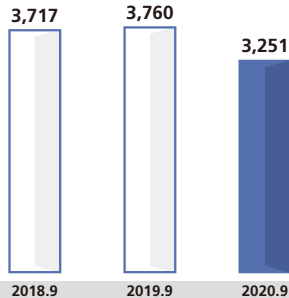
| | |
|-----------------|-----------|
| 売上高 | 20,500百万円 |
| 営業利益 | 930百万円 |
| 経常利益 | 900百万円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 660百万円 |

IC・トランジスタ用リードフレーム

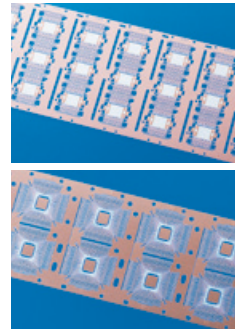
売上高 32億5千1百万円(前年同四半期比13.5%減)

売上高推移

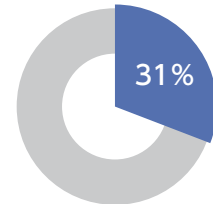
(単位：百万円)



当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車向け部品が海外を中心とする自動車販売台数減少の影響を受け、現在も回復の途上にあります。その結果、当製品群の売上高は32億5千1百万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。



売上高比率

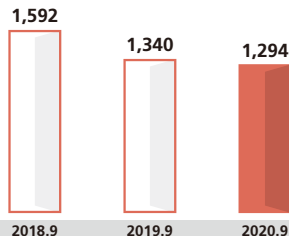


オプト用リードフレーム

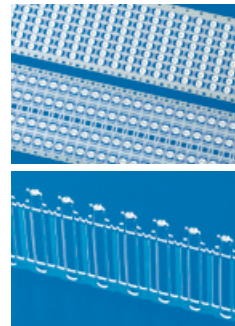
売上高 12億9千4百万円(前年同四半期比3.4%減)

売上高推移

(単位：百万円)



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。自動車向け部品、大型ディスプレイ向け部品などの需要が減少いたしました。その結果、当製品群の売上高は12億9千4百万円（同3.4%減）となりました。



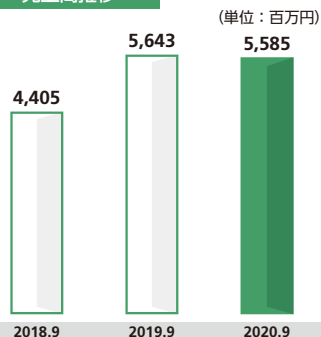
売上高比率



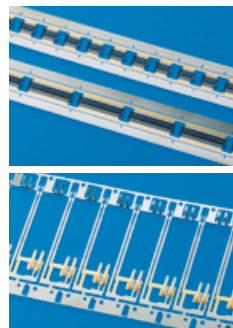
コネクタ用部品

売上高 55億8千5百万円 (前年同四半期比1.0%減)

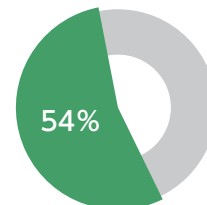
売上高推移



当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。自動車向け部品の需要は回復の途上ですが、スマートフォン向け部品やウェアラブル端末向け部品は高い水準の需要を維持しております。その結果、当製品群の売上高は55億8千5百万円 (同1.0%減) となりました。



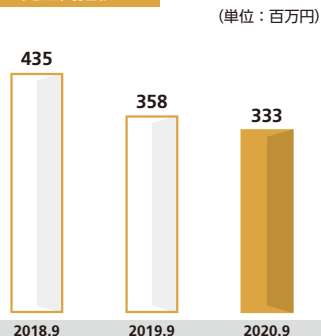
売上高比率



その他

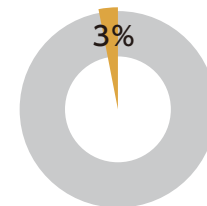
売上高 3億3千3百万円 (前年同四半期比7.2%減)

売上高推移

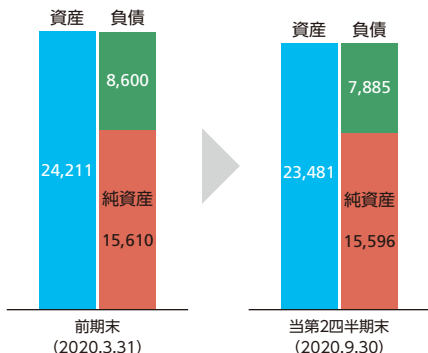


その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は3億3千3百万円 (同7.2%減) となりました。

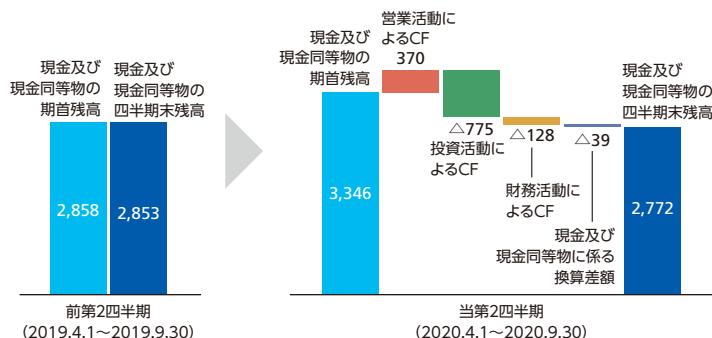
売上高比率



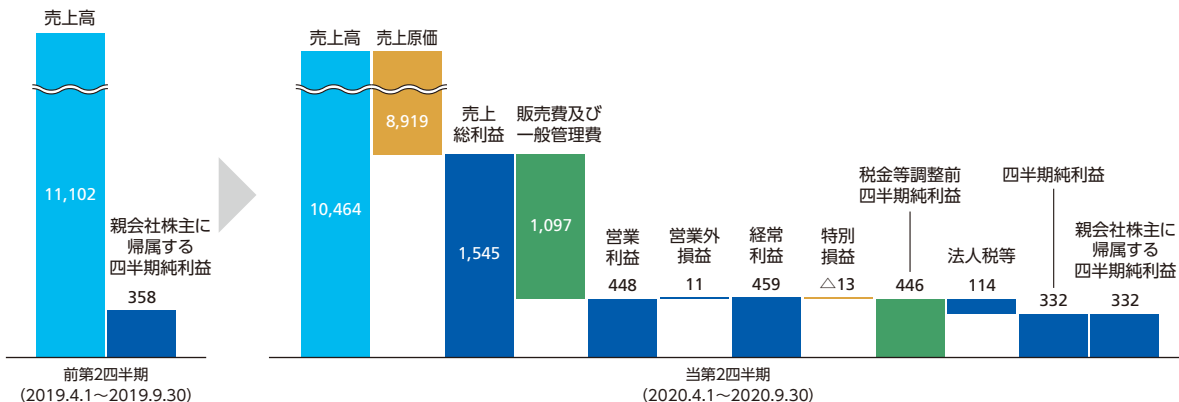
■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT!

(連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ7億2千9百万円減少し、234億8千1百万円となりました。流動資産は、現預金及び売上債権の減少、一方、棚卸資産の増加により前期に比べ6億5千4百万円減少の126億4千9百万円となり、固定資産は、土地及び投資有価証券の減少により前期に比べ7千5百万円減少の108億3千1百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ7億1千5百万円減少し、78億8千5百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

また、純資産は利益剰余金の増加、一方、為替換算調整勘定の減少により155億9千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は66.4%となりました。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。))は、前第2四半期連結会計期間末に比べ8千万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には27億7千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおり

であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億7千万円(前年同四半期は6億3千1百万円の取得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億4千6百万円の計上及び減価償却費7億1千7百万円による資金の増加、仕入債務の減少5億7千8百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億7千5百万円(前年同四半期は6億8千4百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億8千7百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億2千8百万円(前年同四半期は8千9百万円の取得)となりました。これは主に短期借入金の純増額2億1千3百万円による資金の増加、長期借入金の返済7千4百万円及び配当金2億3千8百万円の支払による資金の減少によるものであります。

■株式の状況

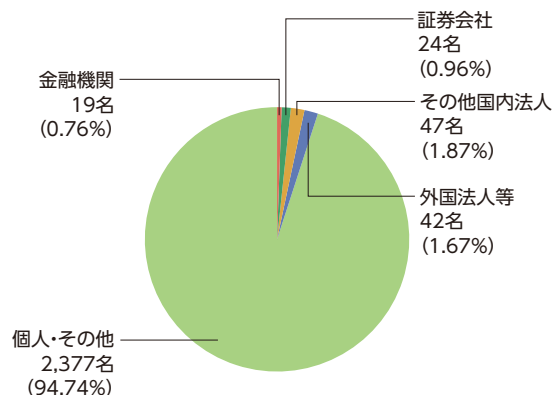
発行可能株式総数 15,000,000株
 発行済株式の総数 6,865,360株
 株主数 2,641名

大株主

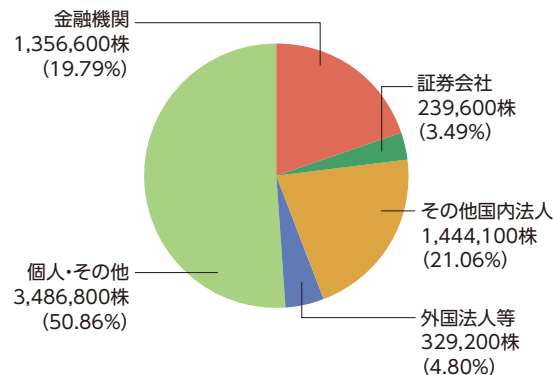
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------|---------|---------|
| 有限会社エノモト興産 | 630,260 | 9.2 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) | 463,200 | 6.8 |
| 有限会社エムエヌ企画 | 420,328 | 6.1 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 339,200 | 4.9 |
| エノモト従業員持株会 | 145,192 | 2.1 |
| 榎本寿子 | 128,104 | 1.8 |
| 櫻井妙子 | 128,060 | 1.8 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口5) | 119,400 | 1.7 |
| 株式会社1222 | 94,500 | 1.3 |
| 櫻井宣男 | 93,660 | 1.3 |

(注) 持株比率は自己株式(57,583株)を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



■会社概要 (2020年9月30日現在)

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社エノモト |
| 本社 | 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111 |
| 創業 | 1962年7月1日 |
| 資本金 | 4,749,333千円 |
| 従業員数 | 495名 |
| 事業内容 | 各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売 |
| 子会社 | ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd. |

■役員 (2020年9月30日現在)

| | | | |
|-------------|---------|--------|--------|
| 代表取締役社長 | 武内 延 公 | 上席執行役員 | 磯部 千 春 |
| 常務取締役 | 白鳥 誉 | 上席執行役員 | 小川 秀 雄 |
| 常務取締役 | 久嶋 光 博 | 執行役員 | 小俣 芳 弘 |
| 取締役 | 櫻井 宣 男 | 執行役員 | 山下 久 幸 |
| 常勤監査等委員(社外) | 加藤 正 | 執行役員 | 中村 隆 |
| 監査等委員(社外) | 八巻 佐 知子 | | |
| 監査等委員(社外) | 氏家 美 千代 | | |

■国内拠点

| | |
|------|---|
| 本社 | 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111 FAX 0554 (63) 4193 |
| 営業部 | 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (62) 4319 |
| 本社工場 | 〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地 TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089 |
| 津軽工場 | 〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1 TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206 |
| 岩手工場 | 〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地 TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513 |

■海外拠点

| |
|---|
| エノモトフィリピンマニファクチュアリング インコーポレーテッド ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. |
| 益能達 (香港) 精密有限公司 ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. |
| 中山益能達精密電子有限公司 ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd. |

ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



SDGsグリーンローンプロジェクト「ガス拡散層一体型セパレータ」 研究開発及び製造ラインの確立に向けた取組みの進捗報告

SDGsグリーンローンプロジェクトとして進行している、「ガス拡散層一体型セパレータ」研究開発及び製造ラインの確立に向けた取組みについては、下記の通り2019年度の目標をほぼクリアしました。今後も山梨県、山梨大学との強い連携を保ち、プロジェクトゴールに向けて邁進して参ります。

2019年度成果

| | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | 発電評価結果 | 年度目標の最大電流密度 3.7A/cm² を達成 (2019年度キーメトリック) |
| 2 | 流路付きガス拡散層 製造技術確立 | コア製造技術を採用した 自動化装置の導入 (2019年度キーメトリック) |
| 3 | 顧客関係 | ① 研究委託業務開始 (FCV1社) ② NDA締結企業数7社獲得 |
| 4 | 知財関係 | 特許 2件 出願 |



津軽工場増築に関するお知らせ

近年では需要が急増しているスマートフォンやウェアラブルデバイス向け部品は高度な技術要求と信頼性の面から、日本製部品はそれらの分野において確固たる優位性を保持し、これらの受注は今後も更なる成長が見込まれています。

津軽工場は現状においても世界最高水準の超微細プレス及び樹脂成形加工技術を保持するばかりではなく、メッキ加工設備も有し一貫加工が可能な体制の主力工場ですが、この度の増築により生産能力の増強とスマートファクトリー化の総合的な推進による更なる収益性の向上を図ると同時に、働きやすい作業環境整備と高水準の災害対策を施すことで、サステナビリティの強化を致します。

1. 取得 (増築) の内容

| | |
|--------------|--|
| 建設地 | 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1 |
| 既存工場床面積 | 約8,776㎡ |
| 増築工場床面積 (予定) | 約7,162㎡ |
| 増築後の工場床面積 | 約15,938㎡ |
| 取得価額 (概算) | 31億円 (建物及び機械、設備等) (機械・設備等は5ヶ年に亘って導入を進める計画です。) |

2. 取得 (増築) の日程

| | |
|--------|----------------|
| 増築工事着工 | 2021年1月中旬 (予定) |
| 竣工 | 2021年11月末 (予定) |

工場コンセプト



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

